

教育実習B		実習	教授 松下 晋 准教授 堤 ひろゆき
科目カテゴリー	教職科目	科目ナンバリング	25200401

1. 授業のねらい・概要

本講義は、教育職員免許取得を希望する学生が必修とされている「事前指導」「本実習」「事後指導」のうち、本実習に備え教育実習Aの確認、実習校での本実習、本実習実施後の事後指導を行うものである。具体的には、各自の実習日誌や学習指導案等実習期間中に作成した資料、各実習校での指導内容に関する報告を基に、各教科・道徳・特別活動並びに学級経営や生徒指導など教科外領域の指導内容に関する検討を行う。これら一連の反省的な振り返りを踏まえ、学校教育を担う教員として必要な基本的知識とそのスキルを再度確認し、教育実習を通して得られた成果と課題を整理する。

2. 授業の進め方

受講者による教育実習に関する報告と検討、並びに担当者のコメントを軸に授業を進める。なお、受講者による報告は、自ら専門とする教科指導に関する事項のみならず、生徒指導や学級経営など、教科外領域における指導事項に関するものも含まれる。

3. 授業計画

1. 教育実習直前ガイダンス（本実習に備えての教育実習Aの確認） 2. 「事後指導」の意義と目的 3. 教育実習校の特徴及び学校経営方針①（教育実習校の教育目標についての報告、コメント） 4. 教育実習校の特徴及び学校経営方針②（教育実習校の学校経営方針についての報告、コメント） 5. 教育実習校の特徴及び学校経営方針③（教育実習校の特色ある取り組みについての報告、コメント） 6. 教育実習校の特徴及び学校経営方針④（教育実習校の概容についての報告、コメント） 7. 各教科指導に関する報告並びに検討、コメント①（授業計画等） 8. 各教科指導に関する報告並びに検討、コメント②（学習指導案等）	9. 各教科指導に関する報告並びに検討、コメント③（授業技術、方法等） 10. 各教科指導に関する報告並びに検討、コメント④（授業計画、学習指導案等の小括） 11. 教科外領域指導に関する報告並びに検討、コメント①（生徒指導） 12. 教科外領域指導に関する報告並びに検討、コメント②（学級経営等） 13. 教科外領域指導に関する報告並びに検討、コメント③（特別活動等） 14. 教科外領域指導に関する報告並びに検討、コメント④（小括） 15. 総括 ※この間、保健体育：中学校3週間の本実習がある。
--	---

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

配布資料及び参考文献の読解に30分程度、グループディスカッションや発表、模擬授業に向けての準備に1～2時間程度を目安とするが、模擬授業に向けての教材研究は可能な限り行うことが望ましい。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

各回の開始時と終了時、模擬授業、グループディスカッション及び発表等の後に講評を行う。

6. 授業における学修の到達目標

- ・教科指導（授業計画・学習指導案等）・教科外領域指導（生徒指導・学級経営等）に必要な基本的知識とそのスキルを習得していること。
- ・教育実習を通して得られた成果と課題を分析し、整理できていること。

7. 成績評価の方法・基準

教育実習の成績（50%）、平常点（25%）、作成物等（25%）の総合評価。

- 平常点については、受講者各自の教育実習報告内容と提出資料、並びに授業中の学習課題に取り組む姿勢や態度を評価対象とする。
- 作成物については、教育実習日誌を評価対象とする。
- 教育実習の成績については、実習校から送られてくる『教育実習成績報告書』にある評価を中心に、平常点、作成物の評価を加えて総合的に行う。

8. テキスト・参考文献

文部科学省 中学校、高等学校の『学習指導要領』『学習指導要領解説 総則編』。最新のもの。
保健体育：文部科学省『中学校学習指導要領解説 保健体育編』

9. 受講上の留意事項

学部2年生終了時に、次の二つの「教育実習に関する学内規定」を満たしていること。

- (1) GPA (Grade Point Average) 値が、2.0以上であること。
- (2) 次の両方を満たしていること。
 - ① 教職に関する科目のGPAが、2.0以上であること。
 - ② 教科に関する科目のGPAが、2.3以上であること。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。